

労災ゼロ500日達成

アスカカンパニー東北工場 中央防止協から記録証

500日間にわたり労働災害を起こさなかったとして、加美町孫沢のプラスチック製品製造「アスカカンパニー東北工場」(佐々木崇工場長、従業員57人)が「無災害記録証」を中央労働災害防止協会から受けた。同社はさらなる記録更新を誓っている。

管内(大崎黒川)で1年1カ月ぶり

記録証授与制度は、動に取り組む際の目標にしてもらうのが狙い。従業員数(10〜99人)と業種、無災害記録日数に応じ第一種(努力賞)から第五種(金賞)まで5段階ある。授与は毎月あり、4月1日付の対象は全国17事業場。宮城労働基準協会古川支部管内



(大崎地方、黒川郡)からは1年1カ月ぶりの授与となった。同工場は、毎月の職場内安全パトロールや年4回の危険予知訓練に取り組んでいる。2022年7月から昨年12月まで無災害で、第一種の基準に達した。記録証伝達式が13日

に同支部であり、古川労働基準監督署の相澤隆之署長と同支部の木田秀隆支部長が、同工場の内出副工場長は「今後安全衛生に努め、従業員一人一人の意識

を高めたい」と話していた。



記録証を受け取る内出副工場長 (左)